

糰屋蔵 登録有形文化財に向けて

現在ブックカフェとして利活用されている越ヶ谷宿の「糰屋蔵」が国の登録有形文化財への登録に向けて動き始めました。

越谷の中で最も古いと言われている RC 造の蔵を何とか登録させたいと考えております。



現在（株）中央住宅さんと協力しながら申請の手続きを進めております。



順声平語 [第18回] 何もないという価値

大自然に触れて身も心もリフレッシュしました！



「今年の夏休みは北海道でホタテが食べたい！」という息子のリクエストに応えるべく「道東ホタテ食べ放題の旅」を企画したのですが、裏プランとして、自然豊かな道東の水辺の調査をする事を目論んでおりました。



女満別空港から網走、常呂、北見、弟子屈、釧路、厚岸と半分くらい読めない漢字地域を縦横無尽に移動しながら北海道の豊かな自然を満喫することができました。道を走っていてもホテルの庭にも野生の鹿が普通に歩いている姿には童心に返って興奮してしまいましたが、とりわけ印象的だったのは、水辺の風景でした。

神秘的な場所でありました。目を疑ったのは、360度どこを見渡しても人間が作り出した人工物が乗っているカーブ以外、何ひとつ見えなかったことです。常に人工物に囲まれている生活が当たり前になっている現代社会において、まるで別世界での出来事の様でした。「自然がつくり出したもの以外は何もありません」というガイドさんの言葉が印象的でしたが、何もない事の価値の高さ、自然を守り抜いている地域の信念の強さはまさに地域のパーパス（存在意義）を示唆するものとして強く心に刻まれました。

さて、我がまちのパーパスとは一体何であろうか？ そんな大きな自問を抱きながら北の大地に別れを告げました。

毬藻（まりも）で有名な阿寒湖は幼少の頃家族で訪れた場所でしたが、遊覧船に乗って毬藻の歌を歌った記憶が今でも鮮明に思い出される程、当時から観光地化された場所だと思っていました。

そんな阿寒湖のイメージが今回のカヌーツアーによって180度変わりました。中心地から車で10分程走ったところで車を降り、原生混合林を歩いて行くと、そこには今まで見たこともない美しい水辺の風景が広がっておりました。水の透明度は限りなく高く、小さな波と木々の葉を揺らす風の音しか聞こえない、遊覧船が運行している同じ湖とは思えない



けやきな舞台袖



ここ数年間、春休み、夏休み、冬休みの3回、子どもと二人っきりの定期面談を行なっています。事前に質問をラインで送っておいて、当日は子どものリクエストの場所で食事をしながら面談します。子どもと日常的に過ごす時間が少ない自分にとっては大切な時間なのですが、子ども達にとっては面倒くさい時間のようです（笑） 畔上

同じような質問でも時を重ねる毎に少しずつ成長を感じています。



昨年パース制作を担当したプロジェクト、佐渡島にある廃校の一室をカフェにコンバージョンした“佐渡 学校蔵カフェ”に伺うため、佐渡島へ行ってきました。私は初めて学校蔵を訪れたのですが、長い時間写真を凝視しながらパースを作成していたので、初めて現地に行ったとは思えないほどの既視感がありました。 小関



絶景を目の前にして頂ける酒米を使用したリゾットや、クラフトコーラのミルク割りなどのお食事とても美味しかったです。



高橋です！早いもので今年も残りあと2ヶ月になりましたね。1日1日、大切に過ごしていきたいでしょう！

今年はコロナ禍で過ごす3年目の夏休みになりました。コロナという存在に慣れてきた一方で、同級生でも重い症状になる例も見られ油断できないと改めて感じました。

そんな中ではありますが、コロナ対策を徹底しながら先日東京ディズニーシーに行ってきました。僕と同年である東京ディズニーシーでは、先日まで1年間に渡り開園20周年を祝うイベントを開催しており、その最終日に行くことができました。自分自身も21歳になり、本格的に20代であるという意識を持って過ごしたいと思います！

高橋

大相模ガルテン

越谷で農のある暮らしを！をテーマに農地と住宅地が混在した「ガルテン」を計画しております。元々ガルテンとはドイツ語で「庭」を意味する言葉ですが、クラインガルテンと呼ばれる市民型貸し農園が18世紀前半から盛んに行われています。日本でも貸し農園は存在しますが、ここに暮らしと農業コミュニティをミックスさせるプロジェクトが大相模ガルテンです。新しい試みにどうぞご期待ください！

大相模ガルテン：<https://osagami-garten.com>



ウイングカフェ 可愛いらしい農家カフェを計画しています



兼業農家さんの事業拡大に伴い、農地の一角に鳥の巣箱をイメージした可愛いらしい農家カフェを計画しています。ゆったりとしたデッキスペースからは広々とした農地が見渡せるように検討しています。現在着工に向けて図面が大詰めです。

新鮮な野菜を使ったスイーツやフルーツにもご期待下さい！



GH 希のこ 間もなく着工です！



開発許可から確認申請へと進み、間もなく着工に入るところまでやって来ました。施工は入札の結果、地元の建設会社の高元建設さんに決まりました。基礎屋さんやプレカット屋さんとの打合せを重ねております。

この後年度内の完成に向けて現場を進めて参ります。



休昌院：前庭造園

外構まで終わった休昌院の最後の工事となりました



最後まで捨てずに取っておいた解体した屋根瓦を使って瓦アートを作成しました。設計者のアイデアと施工側のアイデアを合わせた斬新な作品となりました。

設計・監理：あまね設計

煉瓦の家：バルコニー改修

12年前に新築した御宅の木製バルコニーを改修しました



当初から雨晒しのバルコニーという事で改修しやすいように施工をしておりました。痛みの少ない部分はそのまま活かし、痛んだところだけを取り替えることとしました。

雹被害

雹被害による建物の屋根修繕を行いました

今年もゲリラ豪雨で各地に被害が続出しましたが、越谷近辺でも5月に大量の雹が降る豪雨に見舞われ多くの建築被害が出ました。

弊社にも数件のお客様からご連絡をいただき、カーポートの屋根や物置の屋根など簡易的な建物の屋根修繕を行いました。雹被害でも火災保険が適用されます。



before → after

今後は簡易的な建物でも割れ難い素材にしておくことがポイントです。



けやまな活動報告！！



建築づくり以外の様々な活動も積極的に行っています！

7/23

レイクアンドビーチ

毎年秋に開催している水辺のフェスティバルレイクアンドピースの真夏バージョンを決定しました！やっぱり水辺は夏ですね！来年は大相模調節池で水遊びが出来る位のインパクトのあるイベントにしていきたいと思っております。



8/5

神社を通じて越谷を知ろう



越谷の鎮守の森に佇む久伊豆神社の欄宜さんとコラボ企画として、地域の金融機関の皆さんに越谷の歴史をお伝えしました。異動の多い金融機関の皆様ですが、少しでも越谷の魅力をを知っていただき、地元企業への投資行動に活かしていただきたいと思っています。

9/27

芝浦工大木造授業開始



今年も後期の木造設計製図の授業が始まりました。今年からは豊洲新校舎の新しい製図室での講義です。150人を超える一年生に木造建築の魅力伝えていきます。

9/10 11 木育フォーラム くむんだ～WS



コロナ禍で激減していた木造ジャングルジムワークショップを久々に行うことが出来ました！

木育（もくいく）という言葉もだいぶ浸透してきたようです。



10/8. 9. 10 重陽の節句

旧暦9月の不老長寿を願う伝統の行事です。畔上が務めるまち歩きガイドツアーでは三日間とも満員御礼となりました。越ヶ谷宿への関心の高さを感じる催しとなりました。



商工会議所 会報誌「鼓動」掲載



越谷商工会議所 9月号の表紙と特集に弊社が掲載されました。5300社という大きな企業を抱える越谷市は今後の経済発展のポテンシャルが高い都市だと思っています。そんな想いを語らせていただきました。

10/1. 2

レイクアンドピース 2022

畔上が実行委員長を務める越谷水辺のガーデンフェス「レイクアンドピース 2022」が開催されました。二日間で15000人のお客様が来場する賑わいのあるビッグイベントとなりました。

